

昭和42年1月15日／毎月15日47,000部／昭和31年10月3日第3種郵便物認可(1部5円)

205

40 / 収支決算

歳入
30億6904万円

項目	金額 (万円)	割合 (%)
市税収入	13億7535万円	44.8%
市債	5.2%	
前年度繰越金	2.1%	
使用料／手数料	4.9%	
自主財源	25億3247万円	82.6%
民営料源	1.4%	
贈収入 (遊藝・競馬)	9億1625万円	29.9%

Category	Amount (Billion Yen)	Percentage (%)
Capital Expenditure (投資的経費)	13,590	46.4
Debt Service (借入金の返済)	12,942	44.2
Social Welfare (社会福祉)	2,947	10.1
Interest on Government Bonds (国債の利払い)	1,960	6.7
Subsidies (補助金)	1.9	0.5
Social Security (社会保険料)	1.9	0.5
Interest on Local Government Bonds (地方債の利払い)	3.2	1.1
Other (その他)	7.5	2.5
Total (合計)	29,287	100.0



「一服をのむるたふ多く
えて、それできたるに多くの
事事を、娘じとはとて大々
く」といひ財賄營營する……
青木　それが好意であつね
ればなき言ひなり、といふは
依存財則かち期得ん大々
その見ゆけし法度未だ不き
なむなり。國の出金半す
なるの券財則は、四萬四千
三千五百丁、四百あつた
ぬいすれ九月九日降でないとはは
てなし、特許取附の職權
もいちぢん取附のあかなのは
ない。彼等いらにしとも三三
田縣の事となつとも明は六
い年内にはは成でなく

なる。年度剰金の少は

の事情に左右されることが多。
黒の多少は、市の収入の多少と、ありの問題です。市では、いろいろな問題で、いいことになり、悪いことになり、いろいろあるが、青木・さいごいには、剰余金も、ない。市政経費を節減して、税金の効率的な活用を、むしろ、予算の効率的な活用が問題だ。取引金は、多々つかひ、出て予算は、開支準備金に充てたりする。去年は、全くやむを得ず、今年は一二年ばかりに予算の完全消滅が行なわれている。

前回の財政状況は、建設費、買入れの三、四億元が、不採算が吸収に影響する。三千七百万年度半年度となり、加えて、昨年に支出増補耐えたり、財政設備を整え、三方町もいろいろと投資した。市長も「調子よく

平塚市選挙管理委員会



多角化する行政の方向
世論90%が土木に集中

たすかつた開催権の延長



この平塚市は、人口が約四万五千人に達している。原因は、市中部に入ると武蔵野線が走りまわっているからである。これだけ財源をためてくれるのは力強い。財源をもつていくと、補助や起ちも余計な入でいき、建設費はなかなか払えないという好現象をもたらしている。

——高い建築費によつて、とくにあひだきた成といふは！

青木：「平凡な市町村なら、放金般に均して力を入れているが都府政連でもいふ面々、区區態を整へることに気がついてくる。」

これが、民生福生關係にもさきうらむられていくことになると思ふ。こゝめとしは完全夫婦連で、市民セクターの建設、水道設備完成、新形労働の組織などいまだ不備にも手をつけながら、たりないものも手をつけてきた。

——平塚はこれから民生福祉について……

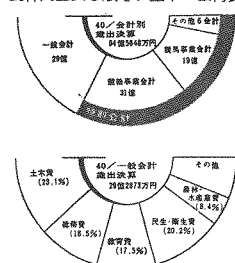
これは新形式三國體（母子寮と児童養育所）をつくらなければならないところだ。

産業経済面にしても、工業団地の造成をおえ、これによって商店街も活況を呈し、兼業化する近郊農家は職場を提供するなど、商工業バランスをとった市政をすすめてきた。農地がたふれ、農業地帯が都市化していくのはすう勢としてふせきようもなかったが、産業振興と租税力強化にはみるべき

あな
あな

40/全期決算

40年度決算は9会計合算で86億3978万円を収入、84億5648万円を支出しました。予算比歳入が101.9%、歳出が98.7%の執行率で、一般会計の剰余金は1億4030万円、同一一般会計の自主財源は82.6%、投資の経費は46.4%の高率を示しました。また、一般会計の歳出決算額は29億2873万円、特別会計9会計合算の歳出決算額は55億1177万円、一般会計の項目別歳出決算額は①土木費、②総務費、③教育費、④民生費、⑤農林漁工費の順で、土木、教育費が

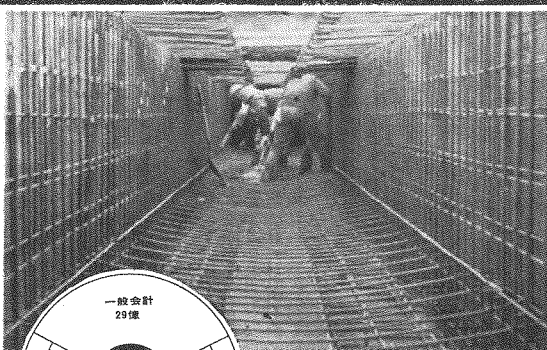


全体の40.6%を占めました。この年度競輪競馬で7億8777万円の収益をあげました。

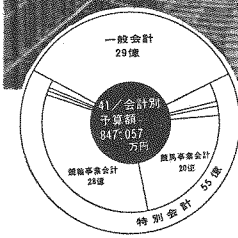
①一般会計 29億2873万円
 ②競輪事業会計 31億4318万円
 ③競馬事業会計 19億6320万円
 ④国民健康保険会計 2億1097万円
 ⑤国保診療所会計 1.44万円
 ⑥簡易水道会計 2432万円
 ⑦都市改造会計 1億1044万円
 ⑧農業共済会計 1957万円
 ⑨下水道事業会計 3865万円

一般會計費別決算額	
市税収入18億7585万円	(44.8%)
諸収入 9億1825万円	(29.9%)
国県支出金3億3740万円	(11.6%)
市債 1億6920万円	(5.2%)
使用料等1億5064万円	(4.9%)
その他1億0718万円	(3.6%)
(歳出)	
土木費 6億7720万円	(23.1%)
総務費 5億4229万円	(18.5%)
教育費 5億1236万円	(17.5%)
民生費 3億1815万円	(10.9%)
農林商工 3億1761万円	(10.8%)
衛生費 2億7137万円	(9.3%)
消防費 7240万円	(2.4%)
労働費 6481万円	(2.2%)
その他1億5269万円	(5.2%)
■一般会計費別決算額	
・自主財源25億3247万円	(82.6%)
・依存財源1億3566万円	(17.4%)
消費経費13億5901万円	(46.4%)
投資経費1億9600万円	(40.8%)

41年度前期末（9月）予算は10会計合算で84億7057万円、一般会計は29億4484万円と30億に近くなりました。一般会計内の自主財源は85.1％、投資的経費は43.1％といぜん高く、項目別では①土木費、②教育費、③総務費、④民生費、⑤衛生費、の順。全会計合算84億円の収支は収入が予算の51.6％に対し、支出は44.7％



地下に巨額を投じている公共下水道
工事…新宿商店街で



を執行、差し引き5億8466万円の入
超、市税も55%を収納しました。

一般会計予算額 (41/9月)	
1 一般会計	29億4848万円
2 競輪事業会計	28億7383万円
3 競馬事業会計	20億2271万円
4 国保事業会計	20億8917万円
5 国保診療所会計	3 億63万円
6 常勢水道会計	3420万円
7 都市改道会計	1億3421万円
8 農業共済会計	2339万円
9 下水道会計	1億2321万円
10 食肉センター会計	1738万円
繰入一般会計費目別予算 (41/9月) (繰入)	
市税収入	15億3394万円 (52.0%)
諸収入	7億7497万円 (23.9%)
国庫支出	3億4274万円 (11.3%)
使用料等	1億4592万円 (4.9%)
繰越金	1億3057万円 (3.5%)
市債	7160万円 (2.4%)
その他	5673万円 (1.9%)

41/性別別予算

経費の種類	割合	金額 (億)
消費的経費	44.2%	-
投資的経費	43.1%	-
人件費	-	8
物件費その他	-	4.8
建設費 (投資的経費の内)	-	12

土木費	6億3988万円	(21.6%)
教育費	5億4740万円	(19.4%)
総務費	5億3295万円	(18.7%)
民生費	3億3765万円	(11.4%)
衛生費	3億3316万円	(10.3%)
農林漁工	2億1558万円	(0.7%)
消防費	9503万円	(0.3%)
労働費	6262万円	(0.2%)
その他	1億7039万円	(0.6%)
■一般会計計画上予算	41(9/月)	
・自主財源	2億980万円	(85.1%)
・依存財源	4億3867万円	(14.9%)
投資経費	12億2720万円	(43.1%)
債務経費	13億274万円	(44.2%)

● 國會計別収支状況 (41/9月末)
 ● 一般会計・入49.8% 出38.9%
 ● 特別会計・入52.6% 出47.8%
 ● 国民負担・市税15億3141万円 (一般会計歳入予算の32%) の平均負担額は市民ひと当たり10,952円、1世帯当たり45,294円。
 ● 国庫市債現在額・7億3058万円。
 ● 市有財産・土地81万2186平方m、建物19万0837平方m、評価額4億5150万円。

競馬で六億円の財源

— 今後は、いままでの煙草の消費が暴落が続いていくようで、公共下水処理も、盤圓（ばんえん）にしても、道路にしても、今後相次いでいくる五公営企業にも三か所さうと十億くらい、文化センターひとつに二億五千万以上、源博昭がついていけるが、二〇％が

足りない。市のほうにも足りない。分は、実態年度度先に伸ばすことで埋め合わせる。か方法はない。

現在、平塚市は新市制第二次五ヵ年計画をすすめているが、朝馬開闢植樹年延長、計外に毎年二億円の財源があり、このうち

五ヵ年計画の完全消化は問題。その年の納入が五ヵ年計画は、これは何かがつくる。

国はもう少し力を強めるだろう。第二次までの年でいれて、第三次までは平塚市を伸ばす。第三次は平塚市を伸ばす。第三次は平塚市を伸ばす。

交際、結婚の自由を保障し、防犯衛生に必要となる施設を整備する。計画地区を完成しては、次に三都府県をついにやちなかつたものとして例のないことだつたので、の間、強制寄附と強制負担との間、当然のことながら特筆されよう。

れ、現長でひきつり仕上りしめてしまふ、仕上りをし、次にうまつていこうとする時期だ、公共下水はすでに軌道についたから、新幹車々園計画も動きを

街 距
高

衆院選立候補者
立会演説会
1/21日
13時・平塚市民センターホール
18時・平塚港小学校講堂

不在者投票制度
をご利用ください

法律の改正によって、昨年7月11日以降に住所をたえ入れた、その人が現に選挙人名簿に登録されている市町村へ行かないと投票できません。このように、本人が直接選挙地までもって投票する手数は、はぶがため不在者投票制度の利用をおすすめします。投票日の前日までに市役所4階選挙管理委員会事務局へおこなうことになれば、平塚で不在者投票をすることができます。くわしくは(22)1700・(22)5457・(22)5458へお電話を。

消費生活苦情相談所

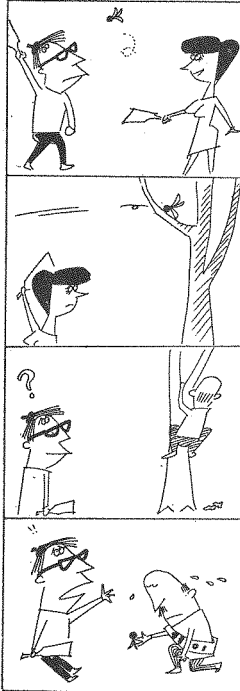


商品の品質や表示・安全性・衛生面などで疑問があるとき、量目不足や誇大広告を発見したとき、消費生活について意見・要望があるときに利用を…消費者保護がねらいです。

窓口ー (22) 2310
中地方事務所総務課

手紙／電話／来庁いずれでも

ひらつかに



【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

今後は職業高を増設 進学と知育偏重の問題 中学教育の正常化を検討



今後高校新設は職業校に重点がおかれ、新設の県立平商会計機教室で

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

推計人口

人口総数	140,172人
世帯総数	33,938世帯
市域面積	67.88km ²
人口密度	2,065人
前月比世帯増	127世帯
人口増	347人

市街地	76,134人(19,324世帯)
野	30,181人(7,153世帯)
大	2,530人(562世帯)
田	7,049人(1,622世帯)
島	1,362人(389世帯)
崎	1,717人(374世帯)
田	2,867人(671世帯)
地	7,868人(1,855世帯)
沢	3,814人(711世帯)
土	6,010人(1,317世帯)
金	(41,111-現在)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

申告書
記載説明会
2/22日

市教育委員会
市教育研究センター
市教育相談センター

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

【県政広聴の質疑から】市内には、普通高専校は、商業・農業の各専攻があり、職業訓練所の中に、定時制の技術高専も併設され、充実した教育行政に満足しているという。

しかし、年々進学率が高くなる現状では、高校進学競争は、まだ、当分続くと見られる。また、普通高専の定数が減らされることもあって、進学の希望を断念せざるを得ない。

また、新聞によると、体位は向上した。体力は前よりあるという。進学など、体育の時間が増え、試験勉強に追われているとも原因のひとつといわれていますが、この知育偏重問題についても対策がとまれます。

市田、石川の二(主編)

毎月
12日
市民安全の日

みんなの願い交通安全／歩行者は正しい横断を／運転車は歩行者の保護を

よい青少年を
たたえる運動

あなたの知る範囲に、よい行ないをした青少年(10才未満)がいたら、氏名・年齢・住所・学校または勤務先・推薦理由をお知らせください。推薦者は住所氏名をかならず明記のこと。日限を設けません。広く市民の推薦をお待ちします。

平塚市青少年問題協議会
民生部青少年課内(22)1700

新平塚風土記 129
平塚宿春日神社

高瀬 慎吾

平塚本宿に鎮座する春日神社は旧名を黒部宮といひ、源頼朝の勧請と伝えられている。旧社地は神社の南方700米ほどのところにあつたが、先年該地附近の人々の努力によつて黒部宮を復興することができた。御祭神はアノコヤネノ命と伝えられているが、旧社地は黒部宮の社号がどういふことに発しているかわからない。あるいは平安時代以前からこの地を「高来」と言つていたと考えられるから古い時代の婦人たちの祭祀にはじまつたものであるかもしれない。

鎌倉時代には相模國の著名神社のひとつとなつていたため頼朝夫人の安産祈願が行なわれたことが吾妻鏡に載つている。昔は神社の傍に平塚山広蔵寺という真言宗の別当寺があつたが明治初年廃寺となつた。広蔵寺には古い記録などがあつたと

ここにかけた写真、鳥居の左に花崗石の社号標がみえる。これは一昨年平塚宿の旧家原田圭次郎さんが寄進されたもので「平塚宿鎮守・春日神社」の太字は平塚市長久保一太郎氏が原田さんの懇請によつて揮毫したものである。

ゆい緒深い本宿・春日神社の神域